Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：商業販売統計(2007年９月)

発表日2007年10月29日(月)

～2ヶ月連続で前年を上回ったが、衣料品関連業種は弱め～

第一生命経済研究所　経済調査部
担当　副主任エコノミスト　長谷山　則昭
ＴＥＬ：03-5221-4525

（単位：%）

		商業販売額		卸売業		小売業		大型小売店		百貨店	スーパー	コンビニ販売額	
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店前年比	既存店前年比	既存店前年比	前年比	既存店前年比
05	9月	1.2	▲ 3.7	1.5	▲ 4.7	0.0	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 2.8	▲ 0.2	▲ 4.5	3.5	▲ 0.3
	10月	1.8	1.2	2.5	1.9	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 1.9	▲ 3.4	▲ 0.4	▲ 5.4	0.5	▲ 3.0
	11月	3.9	1.9	5.0	2.4	0.6	0.7	1.8	0.8	3.1	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 3.9
	12月	4.5	1.0	5.6	1.0	1.2	0.6	0.7	0.6	0.9	0.3	0.1	▲ 3.4
06	1月	5.4	2.2	7.5	2.5	▲ 0.5	2.5	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 0.9	▲ 4.2	0.3	▲ 3.2
	2月	5.7	▲ 1.4	7.1	▲ 1.2	1.2	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.9	0.3	▲ 3.3	1.2	▲ 2.4
	3月	3.3	▲ 3.5	4.0	▲ 4.7	1.1	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.3	1.8	▲ 1.9	0.7	▲ 2.6
	4月	3.6	2.4	5.1	3.2	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 1.3	▲ 1.8	▲ 5.0
	5月	6.6	1.3	8.8	1.5	0.1	0.7	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 1.2	▲ 1.9	0.2	▲ 2.9
	6月	4.4	0.2	5.7	0.2	0.2	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 1.9	▲ 0.7	3.2	0.6
	7月	4.8	▲ 0.9	6.4	▲ 0.9	▲ 0.1	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 2.4	▲ 5.2
	8月	5.6	5.0	7.0	6.4	1.0	1.3	0.6	0.1	▲ 0.8	0.7	0.8	▲ 1.8
	9月	3.2	▲ 6.5	4.0	▲ 8.2	0.5	▲ 1.5	0.8	0.8	1.3	0.4	▲ 0.8	▲ 3.4
	10月	6.0	5.1	7.9	6.9	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 1.4	2.0	▲ 0.6
	11月	3.5	▲ 0.8	4.7	▲ 1.2	▲ 0.3	0.2	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.3	▲ 1.2	1.1	▲ 1.5
	12月	2.2	▲ 1.1	2.9	▲ 1.4	▲ 0.2	0.0	▲ 1.6	▲ 2.4	▲ 2.2	▲ 2.6	2.2	▲ 0.2
07	1月	2.2	3.3	3.3	4.1	▲ 0.9	2.8	0.6	▲ 0.5	0.0	▲ 0.9	1.7	▲ 0.7
	2月	3.0	▲ 0.5	3.9	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.8	1.4	0.5	1.5	▲ 0.2	1.3	▲ 1.1
	3月	1.3	▲ 5.8	1.9	▲ 7.4	▲ 0.7	▲ 1.3	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 0.9	0.9	▲ 1.4
	4月	4.3	6.7	5.8	8.6	▲ 0.7	0.3	▲ 0.8	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 2.0	1.6	▲ 0.6
	5月	5.9	1.5	7.7	2.0	0.1	0.6	0.3	▲ 0.8	▲ 0.7	▲ 0.9	1.7	▲ 0.6
	6月	4.1	▲ 1.4	5.4	▲ 1.9	▲ 0.4	▲ 0.8	1.8	0.9	5.1	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 4.2
	7月	4.0	▲ 0.4	5.9	0.4	▲ 2.3	▲ 2.5	▲ 2.5	▲ 3.8	▲ 4.4	▲ 3.3	2.1	▲ 0.2
	8月	3.0	3.7	3.8	3.8	0.5	3.9	1.7	▲ 0.1	1.1	▲ 0.8	2.1	▲ 0.2
	9月	1.3	▲ 7.9	1.5	▲ 10.1	0.5	▲ 1.5	▲ 0.3	▲ 2.0	▲ 2.7	▲ 1.6	2.1	0.0

（出所）　経済産業省「商業販売統計」

○９月の小売業販売額は前年比＋0.5%と２ヶ月連続で前年を上回る

９月の小売業販売額は前年比＋0.5%と２ヶ月連続で前年を上回り、事前コンセンサス（同▲0.7%、レンジ：▲1.2～＋0.6%）から上振れた。９月の財消費は前年対比ではまずまずであったが、前月比では▲1.5%と８月の水準から減速していることを踏まえれば、良好とまではいえない結果だった。

９月の財消費が前月から減速した主因は天候要因が挙げられる。８月は猛暑となったことで夏物衣料の売れ行きが良かったが、９月も記録的な残暑となるなど気温の高い日が続いた。衣料品については、９月は主力が夏物から秋物に移るため平年よりも高い気温は販売にマイナスとなった模様だ。一方で、残暑は、エアコン、飲料、アイスクリーム等の夏物関連商材についてはプラスに働いた。

業種別にみると、前年を下回ったのは、各種商品小売業、織物・衣服・身の回り品小売業の２業種であり、機械器具小売業、燃料小売業、飲食料品小売業、自動車小売業、その他小売業では前年を上回った。百貨店が含まれる各種商品小売業（前年比▲2.1%）、織物・衣服・身の回り品小売業（同▲1.1%）などの衣料品関連業種では総じて低調となった。一方で、引き続き好調な薄型テレビに加えてエアコン、扇風機などの売れ行きも伸びた機械器具小売業（同＋1.7%）、飲食料品小売業（同＋0.3%）ではプラスとなった。また、燃料小売業（同＋1.2%）も増加したが、ガソリン価格が高水準で推移していることや９月は３連休が２回あったことによる行楽需要の増加がプラスに寄与したと考えられる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

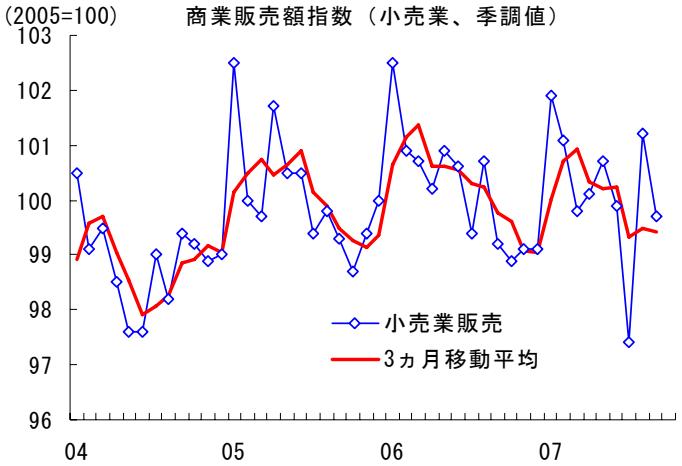
○秋物衣料の不振により大型小売店販売額（既存店）は前年比▲2.0%

大型小売店販売額は前年比▲2.0%（既存店）と減少した。内訳をみると、百貨店が前年比▲2.7%、スーパーが同▲1.6%である。上述のように秋物衣料の不振から衣料品が百貨店（前年比▲5.1%）、スーパー（同▲9.3%）と大きく減少した。一方で飲食料品は百貨店（同＋0.7%）、スーパー（同＋0.5%）と前年を上回った。ともに商品別では同様の傾向となったが、衣料品の販売ウエイトの大きい百貨店がより大きい減少幅となった。一方、不振となった衣料品をほとんど扱わないコンビニエンスストアの販売額は前年比0.0%（既存店）と相対的に良好であった。

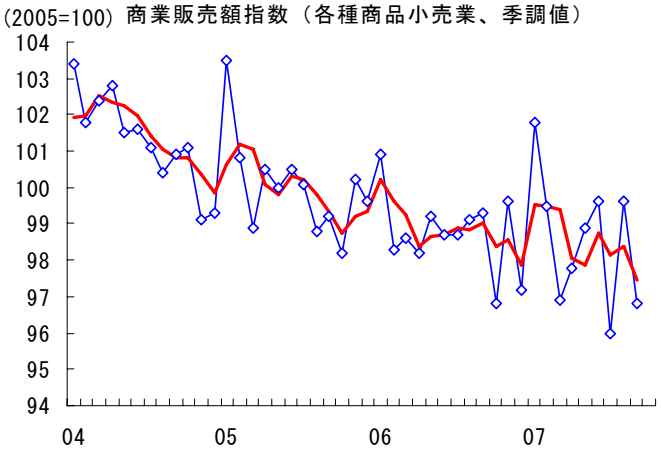
○７－９月期の財消費は幾分弱め、10－12月期は回復基調を辿ると見られるがリスク要因も多い

７－９月期の小売販売額は４－６月期対比で▲0.8%となった。夏場の消費は７月に大きく減少、８月に大きく持ち直し、９月は小幅減速と振れの大きい展開となったが、均してみれば財消費は盛り上がりに欠ける形となった。当初想定したとおり７－９月期のＧＤＰ個人消費はやや弱めになったと考える。

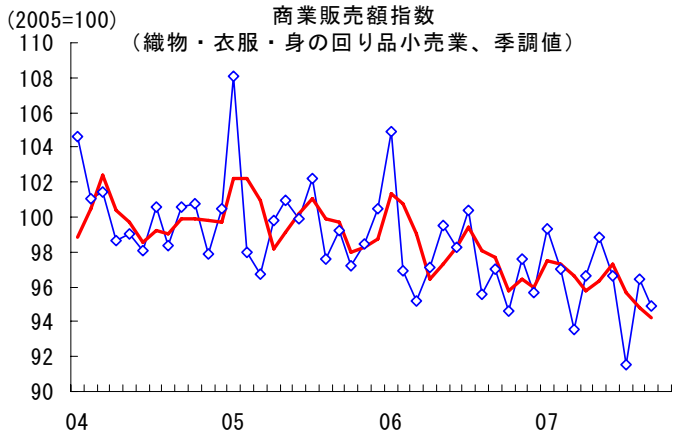
先行きについては住民税の負担増の悪影響が限界的に剥落すること、雇用環境の改善が続いていることから消費は緩やかながらも回復基調が続く見込みであるが、ガソリン価格の上昇や株価の動向などが不透明要因として残る点には留意が必要である。また、商業販売統計における建築材料卸売業の指数低下が目立つなど、改正建築基準法による住宅・建築着工の遅れが関連業種に足元で悪影響を与えていることが確認できる。今回の制度改正が小売業にはっきりと悪影響を及ぼしていることは現在まで確認できず、日本経済の回復トレンドを腰折れさせるほどのマイナスインパクトはないと考えるが、住宅着工などに伴う関連消費の減少や同分野の収益下振れによる家計への影響など、一時的とはいえ消費にとって良くない材料となろう。



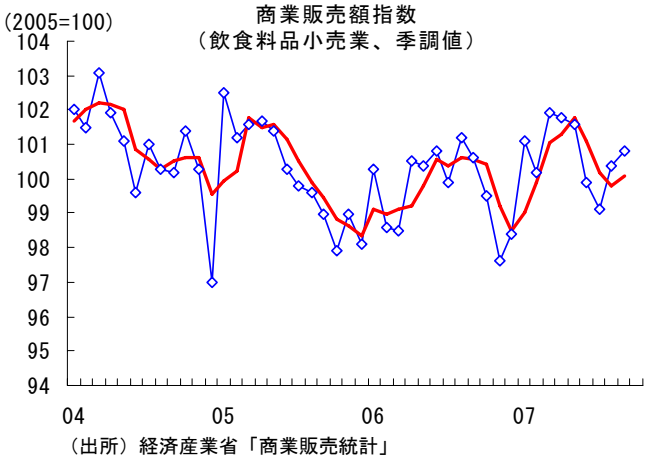
（出所）経済産業省「商業販売統計」



（出所）経済産業省「商業販売統計」

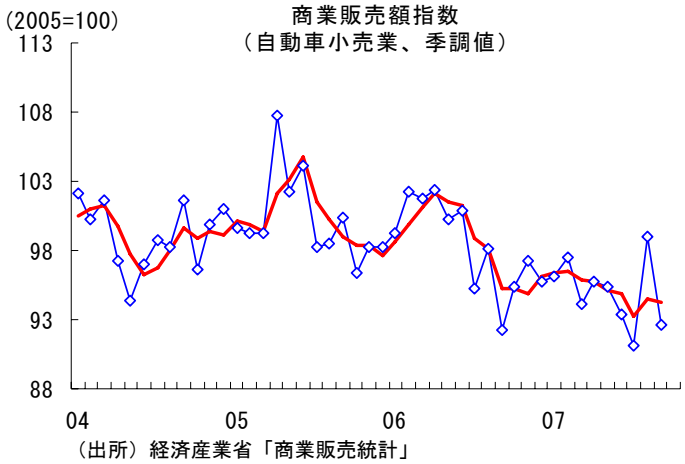


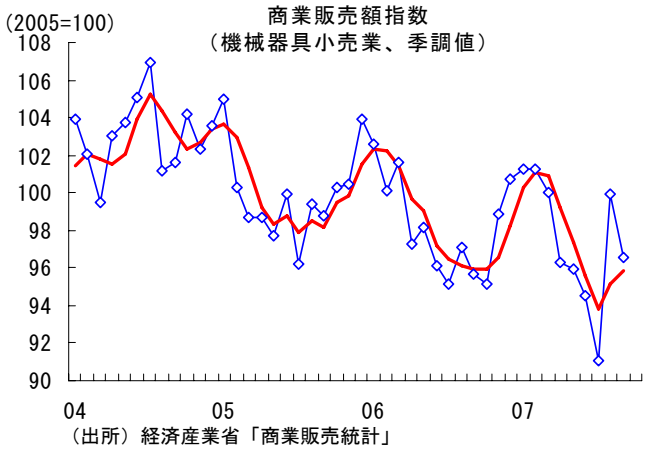
（出所）経済産業省「商業販売統計」

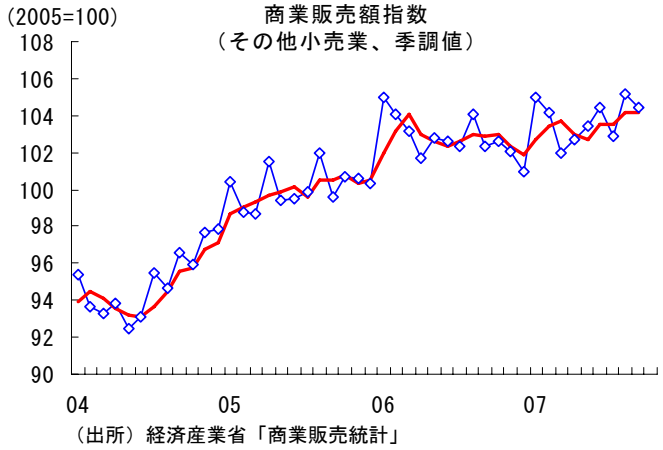


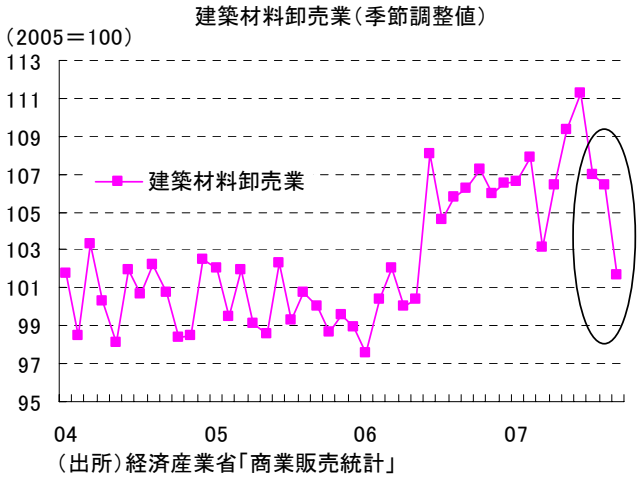
（出所）経済産業省「商業販売統計」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。









本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。